

章・ページ番号・行数	誤	正
第1章・p.13・上から8行目	ヒ <u>ト</u> スグラム	ヒ <u>スト</u> グラム
第1章・p.16・課題1の枠内	次のA~ <u>E</u> は(中略) A~ <u>E</u> のデータに(中略)を a~ <u>e</u> から選びましょう。	次のA~ <u>F</u> は(中略) A~ <u>F</u> のデータに(中略)を a~ <u>f</u> から選びましょう。
第2章・p.33・下から6行目	ヒ <u>ト</u> スグラム	ヒ <u>スト</u> グラム
第2章・p.35・側注13)	図3の <u>高</u> 得点群は0.04, <u>低</u> 得点群は-0.05となる。	図3の <u>低</u> 得点群は0.04, <u>高</u> 得点群は-0.05となる。
第2章・p.46・表8	差し替え(欄外記載)	数値の訂正(欄外記載)
第2章・p.46・上から1行目	$\chi^2=0.04$, $p<0.05$	$\chi^2=5.47$, $p<0.05$
第3章・p.60・表7	差し替え(欄外記載)	語句の訂正(欄外記載)
第4章・p.73・側注30)	第1章表2 「知識の5W1H+ α の枠組み」	第1章P.26表3 「知識の5W1Hのフレーム」
第6章・p.109・表4キャプション	知識の5W1H+ α のフレーム	知識の5W1Hのフレーム
第6章・p.109・側注12)	第1章表2 「知識の5W1H+ α の枠組み」	第1章P.26表3 「知識の5W1Hのフレーム」
第6章・p.114・上から9行目	表6に示します	表5に示します
第6章・p.114・下から6行目	表7に示します	表6に示します

第2章 p.46 黄色部分の数値のみ訂正

表8 海外渡航経験の有無×英語の点数のクロス集計表

	高得点群	低得点群	合計
海外渡航経験有り	41	26	67
海外渡航経験無し	12	21	33
合計	53	47	100

カイ二乗検定を行った結果, $\chi^2=5.47$, $p<0.05$ となり, 海外渡航経験の有無と英語の点数は独立ではなく, 2つの変数の間には連関があると言えそうです。

第3章 p.60 黄色部分の語句のみ訂正

表7 二元配置の分散分析の結果

変動要因	変動	自由度	分散	観測された分散比	P-値	F 境界値
標本 (クラス)	43.892	2	21.946	1.052	0.354	3.105
列 (年度)	174.835	1	174.835	8.382	0.005	3.955
交互作用 (クラス×年度)	134.612	2	67.306	3.227	0.045	3.105
繰り返し誤差	1752.131	84	20.859			
合計	2105.471	89				